

平成29年度 全国学力・学習状況調査 各市町の状況(全国平均以上の場合「+」表示)

校種	小学校				中学校				特長や改善された点	
	国語		算数		国語		数学			
	A	B	A	B	A	B	A	B		
長崎市					+	+	+	+	中学校の国語 A、数学 Bにおいて、大きな改善が見られる。小・中学校ともに「将来の夢や目標を持っている」子供の割合が増えてきている。	
佐世保市									小学校国語での漢字や、中学校国語での書写に関する基礎的な知識を身に付けている。外国のことについて興味・関心を持っている子供の割合が高い。	
島原市		+	+					+	算数・数学で、基本的な技能の定着が図られている。家で、学校の授業の復習をしたり、自分で計画を立てて勉強したりしている子供の割合が高い。	
諫早市					+	+		+	中学校数学では、領域「関数」において改善が見られ、活用する力も伸びている。社会で起きている出来事、ニュースに関心を持っている子供の割合が高い。	
大村市									中学校国語で領域「読むこと」において改善が見られ、目的に応じて資料を効果的に活用できる子供が多い。「自分にはよいところがある」と思っている子供の割合が高い。	
平戸市									中学校国語の領域「読むこと」において活用する力を身に付けている。地域の行事に参加し、地域の大人と関わりを持っている子供の割合が高い。	
松浦市									小・中学校国語において漢字の知識の定着が見られる。テレビの視聴時間や、テレビゲームの使用時間が短い子供の割合が高い。	
対馬市	+		+					+	中学校数学では、B問題において改善が見られ、活用する力が伸びている。総合的な学習の時間に主体的に取り組んでいる子供の割合が高い。	
壱岐市	+		+		+	+			中学校国語の領域「話すこと・聞くこと」で活用する力を身に付けている。困っている人がいたら進んで助けるなど道徳性が高い子供の割合が高い。	
五島市					+	+			中学校国語の領域「話すこと・聞くこと」で活用する力を身に付けている。ものごとを最後までやり遂げ、喜びを感じた子供の割合が高い。	
西海市			+						小学校算数で、領域「数と計算」の基礎的な知識・技能の定着が図られている。市独自の英語に親しむ体験活動の実施により、外国について興味・関心を持っている子供の割合が高い。	
雲仙市			+					+	中学校数学では、領域「図形」において改善が見られ、活用する力も伸びている。本を読んだり借りたりするために、図書館をよく利用している子供の割合が高い。	
南島原市									中学校数学では、B問題において改善傾向が見られ、活用する力が伸びている。学校で好きな授業があると答えている子供の割合が高い。	
長与町	+	+	+	+	+	+	+	+	小・中学校ともに、各教科において良好である。授業で学んだことを、ほかの学習や普段の生活に生かしている子供の割合が高い。	
時津町								+	+	中学校数学では、基礎・基本的な内容が定着しており、活用する力も伸びている。読書が好きだと回答している子供の割合が高い。
東彼杵町					+	+	+	+	中学校数学では、領域「関数」において向上し、活用する力も伸びている。小・中学校ともに国語や算数・数学の学習は大切であり、将来役に立つと思って学習している子供の割合が高い。	
川棚町			+		+	+	+	+	中学校国語で領域「話すこと・聞くこと」「書くこと」で活用する力を身に付けている。将来の目標や夢をもっている子供の割合が高い。	
波佐見町					+	+			中学校国語で基礎的な知識に定着が見られ、領域「話すこと・聞くこと」では活用する力を身に付けている。家で、学校の宿題に熱心に取り組む子供の割合が高い。	
小値賀町	+	+	+	+	+	+	+	+	小・中学校ともに、各教科において良好である。友達の話や意見を最後まで聞こうと努めている子供の割合が高い。	
佐々町			+						小学校算数で、基礎的・基本的な知識・技能の定着が図られている。いじめは、どんな理由があってもよくないと考えている子供の割合が高い。	
新上五島町			+		+	+	+	+	中学校国語では確かな知識を基に、複数の情報から考えをまとめる力を身に付けている。地域の行事やボランティア活動に参加している子供の割合が高い。	